

ユニット紹介

専門深化型ユニット



目指す将来像



- ①日本の科学技術・イノベーションに貢献する(アカデミアの)研究人材
- ②日本へ定着および日本の国際競争力向上に貢献できることが望ましい
- ③留学生は、支援期間内に日本語能力試験N2を取得することが望ましい



必須コンテンツ

支援期間の終了までに、

- ①博士課程修了規定以上の数の論文を投稿すること

支援期間の毎年度に、

- ②学振特別研究員への申請
- ③アカデミックライティングセミナーへの参加



ユニット長

医歯保健学 教授・寺尾 豊
(科研費・学振・JST・AMED審査員)



キャリア型ユニット

将来像

環境変化にしなやかに対応できる
「博士イノベーター」

○あらゆる場で、自身の博士課程で培った力（研究力含む）を発揮し、課題発見・解決を行い、イノベーションを創出する人材（産業界に限定していません）

必須 コンテンツ （支援期間中 各1回以上）

- ・ 専門外にもアンテナを立て、多様な社会人との接点を持ち、自身を鍛える
- ・ 人間力を高めるために、ジェネリックスキルを身につける
 - ◆PhDリクルートフォーラム
 - ◆ジェネリックスキルセミナー3講
 - ・交渉学
 - ・プロジェクトファシリテーション
 - ・研究者のためのビジネスマナー

ユニット長：PhDリクルート室 弥富洋子



創生型(クロスAI)ユニット

将来像

クロスAI分野で イノベーションを創出できる博士人材

- 情報・AI関連技術を活用して専門的研究の推進できる
- 情報・AI関連技術を活用してイノベーションを起こせる
- 情報・AI関連技術をハブとして、異分野とコラボできる

必須 コンテンツ (支援期間中 各1回以上)

- 加速化・多様化するデータサイエンスに関する知見や技術を習得
- キャリア支援メニューによりトランスファラブルスキルを習得
- ◆ YDSCの企画・運営（支援期間中1回以上）
- ◆ ビックデータアクティベーション研究センターのセミナー・講習への参加（支援期間中1回以上）

ユニット長：自然科学系情報電子工学系列（工学部） 教授
飯島 淳彦



学際研究型ユニット



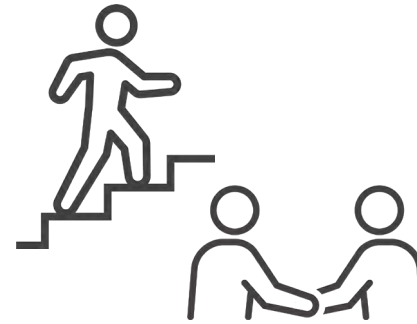
学際ユニット長：村山敏夫
(PhDリサーチサポート室長)

ユニットの目指すビジョン

- ・異分野融合で研究力が強化できるユニット
- ・自由な発想と創造ができる若手人材が育成されるユニット
- ・ムーンショット思考が生まれる環境のユニット

学生に養われる能力

- ・主体的で複合的な研究に取り組む能力
- ・障壁を乗り越える能力
- ・未来を創造できる能力
- ・仲間と一緒に協働できる能力



能力を獲得するためのマルチラボ&学内発表 (必須コンテンツ)

①マルチラボ：異分野研究室への学内短期留学（原則3カ月）

②学内発表：U-goサロン、シンポジウムなど

- ・多彩で多様な研究分野の人材とつながるコンテンツ
- ・異分野の研究室で新しい知見・考え方を学ぶ
- ・活動を通じて得た経験・成果を発表し意見交換



学際研究型ユニットの支援体制

- ・メンター教員による個別面談対応
- ・若手教員による距離感近いサポート
- ・メタバース空間(oVice)を活用したカジュアルな意見交換

各コンテンツ参加とポイント制について

概要

2年次から分かれる4つの人材育成ユニット毎に、
必須の活動 + **自身で選択可能なコンテンツ**に取り組む。

ポイント制で
実施状況確認

コンテンツ毎のポイント

- ・博士後期課程1年次／博士課程1,2年次 から支援の学生向けの内容
- ・1年次から全て参加可能

＜共通＞		＜ユニット毎必修＞ 2年次以降		合計 20 ポイント 以上
必須	<div>・キャリアマネジメントセミナー履修・単位取得2 pt</div> <div>・年度末シンポジウム（参加）*（支援期間内毎年度）1 pt</div> <div>・年度末シンポジウム（発表）*（支援期間内1回以上）1 pt</div> <div>*毎年参加毎に1 pt加算</div> <div>6 pt</div>	<div>専門深化</div> <div>・学振申請（DC2・PD）5 pt</div> <div>・規定数以上論文投稿5 pt</div> <div>・アカデミックライティング受講2 pt</div> <div>12 pt +選択2 pt</div>		
		<div>キャリア</div> <div>・PhDリクルートフォーラム参加5 pt</div> <div>・交渉学、プロジェクトファシリテーション、研究者のビジネスマナー実践各1 pt（計3 pt）</div> <div>8 pt +選択6 pt</div>		
		<div>創生（クロスAI）</div> <div>・BDA研究センター夏期講習参加2 pt</div> <div>・若手データサイエンティストコロキウム（YDSC）運営・開催5 pt</div> <div>7 pt +選択7 pt</div>		
		<div>学際</div> <div>・マルチラボ実施5 pt</div> <div>・マルチラボ（学際的研究）成果に関する学内発表2 pt</div> <div>7 pt +選択7 pt</div>		
選択	<div>・交渉学 ・プロジェクトファシリテーション</div> <div>・博士交流会</div> <div>・研究者のビジネスマナー実践</div> <div>・JST主催イベント発表</div> <div>・博士のためのキャリアミナ</div> <div>各1 pt</div>	<div>・インターシップ</div> <div>・企業研究サイトビジット</div> <div>・13大学合同企業説明会</div> <div>・アカデミックライティング</div> <div>・BDA研究センター夏期講習</div> <div>・U-go知発表各2 pt</div>	<div>・他大学マッチングイベント</div> <div>・三大学交流会</div> <div>・博士のための経営・起業入門セミナー各3 pt</div> <div>・学振採択20 pt</div>	<div>・YDSC ・マルチラボ ・PhDリクルートフォーラム</div> <div>・規定数以上論文投稿 ・学振申請</div> <div>・ジョブ型研究インターンシップ各5 pt</div> <div>（ほか発表内容や論文IF等で追加ptあり）</div>

・他ユニットの必須項目も選択の中から受講・ポイント取得可能

・1年次終了までに**9 pt**、2年次終了までに**計18 pt**取得を推奨

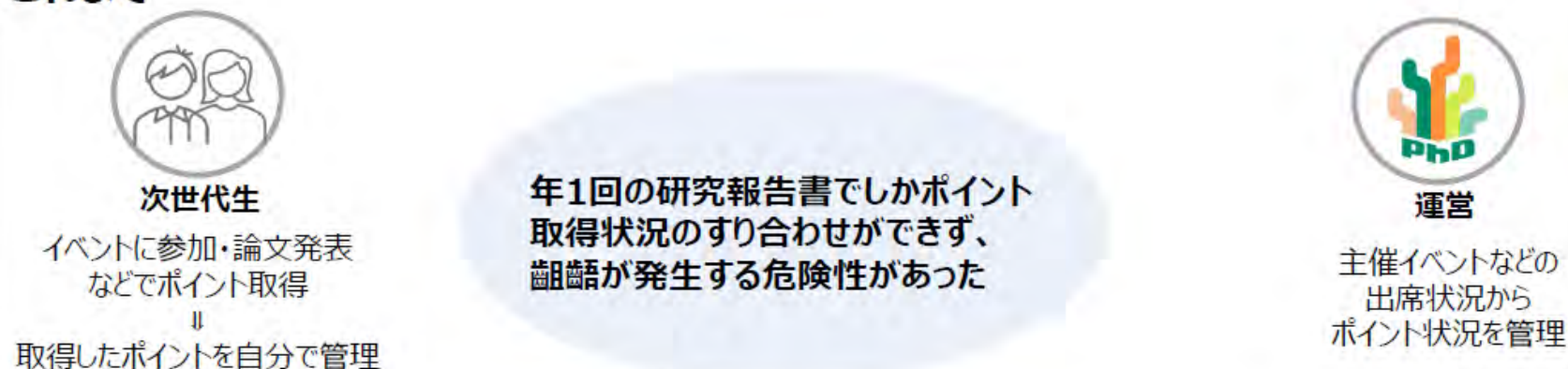
→ **ポイント数（実施状況）によって研究費増額申請可否や支援継続を判断**

ポイント管理システム

これから



これまで



4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
● キャリアマネジメントセミナー ● 博士のための経営・起業入門セミナー ● ● ● ジェネリックスキルセミナー ● 英語論文ライティング講座(6～8月 導入編2回、基礎編4回、上級編4回) ● 13大学企業合同説明会 (7/10・11) ● U-goサロン (未定) ● スキルアップセミナー(未定) ● BDA研究センター夏期講習 (9月頃) ● PhDリクルートフォーラム (9/18) ● 未来の博士ゼミ (10/22) <small>旧：博士のためのキャリアセミナー</small> ● 博士交流会 (10月頃) 13大学合同博士研究交流会 (11/10・11) <small>(3大学合同博士研究融合セミナー)</small> ● YDSC2026 (11/7) ● 企業研究サイトビジット (8/29) ● U-goサロン (未定) ● 年度末シンポジウム ● メンター面談 (9～10月頃) ● 研究報告書提出											

(3)

新潟大学

PhDリクルート室
PhDリサーチサポート室

博士後期課程学生が修了後活躍するためのサポート

アンテナと適応力を高め、専門性を活かし
「高度人材・知のプロフェッショナル」への支援

「博士イノベーター」として活躍

多様なキャリアパス

(産業界、起業、アカデミア、官公庁・・・)

インターンシップ (JOB型含)

企業研究サイトビジット

PhDリクルートフォーラム

ジェネリックスキルセミナー

未来の博士ゼミ

博士のためのキャリアマネジメントセミナー

キャリア相談

ジェネリックスキル習得

学外との接点提供

PhDリクルート室



①博士学生の研究支援

- ・外部競争資金獲得のためのノウハウ提供
- ・学内外のトップ研究者との意見交換の場面設定

—— 学振ライブラリ、学振添削サポートなど
—— メンター面談など

②分野横断融合的研究機会構築

- ・マルチラボ実施時の助言と支援
- ・博士学生同士、博士学生と教職員交流の提供
- ・学際的研究成果の発表機会

—— メンター面談
—— 博士交流会など
—— シンポジウム構想中

次世代生との関わり方



PhDリサーチサポート室長

村山 敏夫

① 専門深化型

次世代生

② キャリア型 ③ 創生型（クロスAI）

フェローシップの後継型

④ 学際研究型

旧次世代プロジェクトの後継型

総合的研究支援
分野横断融合的研究機会構築

マルチラボ
実施提言

相談

PhDリサーチサポート室 & メンター教員

丁寧な支援と大胆な発想に対する後押しで博士学生の研究力を高める



(4)

学生募集について

よくご確認ください

募集要項・Q&A 掲載ページ



<https://www.phd.niigata-u.ac.jp/student/fellowship/shinzisedaipj/application-guidelines/>

次世代プロジェクト 概要と特色 掲載ページ



<https://www.phd.niigata-u.ac.jp/next-generation-project/about/>

採用区分	申請区分	申請要件（課程・年次等）	採用予定者数
令和8年度 採用	[1]	<p>〈1〉2026（令和8）年4月に、下記の本学大学院博士課程・年次に入学し、在学する予定の者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医歯保健学研究科の博士（後期）課程・第1年次 	12名
		<p>〈2〉2026（令和8）年4月に、下記のいずれかの本学大学院博士課程・年次に入学し、在学する予定の社会人学生等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会文化研究科・自然科学研究科の博士後期課程・第1年次 ・医歯保健学研究科の博士（後期）課程・第1年次 <p style="text-align: right;">研究費のみ支給</p>	
令和8年度 補充採用	[2]	<p>2026（令和8）年4月に、下記の本学大学院博士課程・年次に在学する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医歯学系の4年制の博士課程・第2年次 	1名程度
	[3]	<p>2026（令和8）年4月に、下記のいずれかの本学大学院博士課程・年次に在学する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区分制の博士後期課程・第2年次 ・医歯学系の4年制の博士後期課程・第3年次 	2名程度
	[4]	<p>2026（令和8）年4月に、下記のいずれかの本学大学院博士課程・年次に在学する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区分制の博士後期課程・第3年次 ・医歯学系の4年制の博士課程・第4年次 	2名程度

※医歯保健学研究科の学生については、前回の学生募集において募集時期を延期していることから、一定の支援対象者数を確保するため、選考に当たってその点を考慮する場合がある。

推薦書・同意書
の記入依頼

推薦書：申請者をよく知る方（可能な限り、博士(後期)課程における受入教員(指導教員))を推薦者に立てて記入を依頼し、推薦者がメールで提出すること。

同意書：必ず博士(後期)課程における受入教員(指導教員)に記入を依頼し、指導教員(受入教員)がメールで提出すること。

申請登録
フォームの入力



<https://forms.office.com/r/Ur2P3L3iSX>
※募集(申請)期間のみ入力可能です。

申請書を
メールで提出

パソコンで作成後、自署欄に直筆で記名したものをPDFファイルに変換し、所定のパスワードをつけて送付すること。

提出先：新潟大学次世代研究者挑戦的研究プログラム事務局
fs-spring@gs.niigata-u.ac.jp

(5)

今後の予定等

募集（申請）期間	1/23（金）～1/27（火） <u>23:59まで</u>
第一次審査結果通知	2/26（木）まで
第二次審査（面接）	3/4（水）～ 3/5（木）
結果通知	3/23（月）まで

【問い合わせ先】

新潟大学次世代研究者挑戦的研究プログラム事務局（学務部教務課大学院支援係）

E-mail（学生募集専用）：fs-spring@gs.niigata-u.ac.jp

【新潟大学の博士支援関連サイト】

PhDリクルート室：<https://www.phd.niigata-u.ac.jp>

博士ポータル：<https://portal.phd.niigata-u.ac.jp>

次世代プロジェクト：<https://www.phd.niigata-u.ac.jp/student/fellowship/shinzisedaipj/>